

図1のように、1.0 g～5.0 gまでの水酸化ナトリウムに、それぞれ水を加えて 100cm³の水酸化ナトリウム水溶液A～Eをつくりました。これらの水溶液に、ある濃さの塩酸をそれぞれ中性になるまで少しずつ加えていきました。図2は、中性になったときの水溶液A～Eの水酸化ナトリウムの質量 (g) と塩酸の体積 (cm³) の関係をグラフに示したものです。これについて、以下の問いに答えなさい。(平成 29 年度 第3回理科問題より)

図1

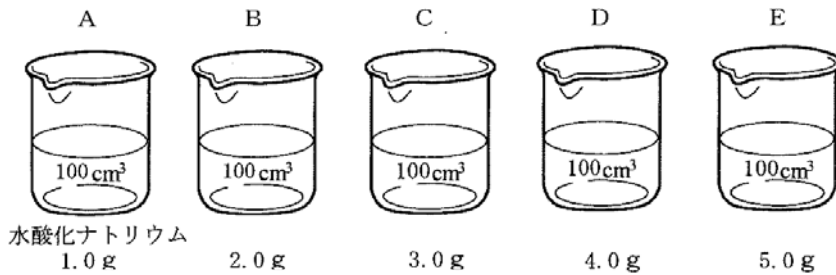
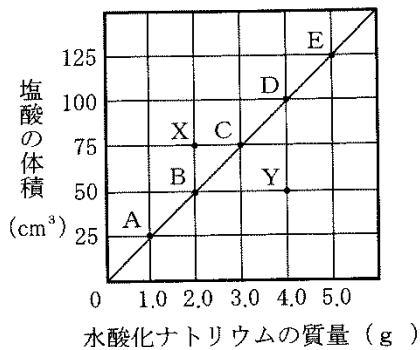


図2



- (1) グラフ中のXとYで示したような水溶液をつくりました。XとYの水溶液はそれぞれ何性ですか。酸性、中性、アルカリ性のいずれかで答えなさい。
- (2) 中性になった水溶液Aを加熱して水分を蒸発させると、白い固体が 1.5 g 出てきました。Yの水溶液を加熱して水分を蒸発させると、何 g の固体が出てきますか。また、その固体は何ですか。次の(あ)～(か)から正しいものを1つ選んで、記号で答えなさい。
- (あ) 塩化水素
 - (い) 塩化ナトリウム
 - (う) 水酸化ナトリウム
 - (え) 塩化水素と塩化ナトリウム
 - (お) 塩化水素と水酸化ナトリウム
 - (か) 塩化ナトリウムと水酸化ナトリウム

解答欄

(1)	
X	Y

(2)	
Y : 計算式	記号
答.	g

※郵送での返却をご希望の方は、以下にご記入をお願いいたします。

理科以外で提出された科目に○を付けて下さい。		国 算 社	(理)
受験生お名前		電話番号	— —
ご住所	〒 —		

郵送をご希望の方は、玄関横の事務室にご提出下さい。